

第7回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時 : 平成25年3月9日(土) 9時30分から12時00分
2. 場 所 : 議会棟第一委員会室
3. 出席委員 : 坂口委員長/牛尾副委員長/荒井委員/石井委員/金川委員
上村委員/倉橋委員/小林委員/近藤委員/佐々木委員
新保委員/鈴木委員/田島委員/多田委員/服部委員/早川委員
山家委員(作業部会長)/吉村委員/渡邊委員
4. 事務局出席者 : 枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/渡辺主幹
小池主査長/岩上主事/渡邊主事
5. 欠席者 : 吉田委員
6. 会議内容
 - (1) 作業部会の検討経過について
 - (2) 地域コミュニティに関する課題の現状と課題解決の方向性について
 - (3) まちづくり協議会について
 - (4) 基本方針策定作業について
 - (5) 次回の日程について
7. 傍聴人及び発言者の数 : 傍聴人2人 発言者の数0人
8. 決定事項
第8回策定委員会は、4月6日(土)9時30分から12時00分に開催。

◆議事の内容

●地域コミュニティに関する課題の現状と課題解決の方向性について	
○人の課題について	
委員長	第6回の策定委員会で委員より出た意見について、作業部会でご議論いただいた結果をご報告いただきました。基本方針の中で、趣味のサークルの位置づけについて記述して欲しいとの意見がございましたが、いかがですか。
委員	趣味のサークルの位置づけについては、基本方針のどこかで書いていただきたかったので、ご報告いただいた形でよろしいと思います。
事務局	趣味の会やサークルもコミュニティにおいて重要ですので、「連携・連帯」の課題の中で記述する方向となりました。組織の例示については、これまで民生委員・児童委員としていましたが、これらは公助であるとして、地区社協、市民活動団体に変更いたしました。人口減少については、ここで議論できることではありませんが、市としては課題なので、全体像のところに記述します。
○情報について	
部会長	資料説明
委員長	他の作業部会の方は、補足等ございますか。
委員	個人情報と表現すると、それが必要なのかなど議論がそこに集中し狭く感じられてしまうので、個人情報にこだわらず、活動に必要ないろいろな情報が必要と大きく表現しました。
委員	このような情報の内容は、はっきりさせておいたほうが良いと思います。
委員長	必要なときには個人情報であっても必要なので、ここに書いておいたほうが良いということですか。
委員	そうです。
部会長	自分達の情報について、それぞれ温度差があると思うので、個人情報と書くのはよくないと思います。個人情報の扱いの議論になってしまい、活動の足かせになる可能性があります。
委員	いざ活動に必要な情報の中で、個人情報が必要になったときのために書いたほうが良いと思いましたが、ご議論

	されて、そのような結果となったのであれば、よろしいかと思います。
部会長	作業部会の中でも、情報を出さず、関わりを持ちたくない人がいるとの話が出ましたので、そういうことも含め情報収集の困難があるという議論はしました。
事務局	個人情報だけでなく、その他の地域の情報についても必要だということで、このように変更しました。情報の発信が十分に出来ていないのではなくて、各団体が発信しても伝わっていない、また受け取る側の意識も低いということで変更いたしました。欲しい人がどのような情報を望んでいるのかを考慮すること、またどのように伝えるかということところを記述しました。
委員	現状の課題のところ市に課題が書いてあるのに、方向性が書かれていません。
事務局	情報だけでなく、他の項目においても「市においては・・・」という部分があるので、市の課題としてまとめて書くか、個別の項目に書くかという点については、作業部会で話し合います。
委員長	コミュニティの組織の中に市は入らないのですか。
事務局	市は公助なので入りません。
委員	方向性については、市の課題の項目で書くということですね。その方がわかりやすいかもしれませんね。
委員	市の課題もまとめた方がいいと思います。
委員	作業部会の中でも、いろいろな意見が出ましたが、個別の課題の中では、市においても課題があることを書いておいて、最終的に市のところでまとめようということ同意したと思います。
委員長	課題については、個別的な部分で市のことも書いておいて、方向性については市単独のところで記述するという事になったということよろしいですか。それでは、そのような形でまとめることとします。

○連携・連帯について	
事務局	連携、連帯の課題の現状について、方向性が示している

	<p>ものの、そもそも何が課題なのかという点が明確ではありませんでした。そこで、地域の課題が複雑化、多様化してきており、一団体で対応することが難しくなっている点、また同じ分野同士の連携が多く、それを超えた連携が足りないという点を、自治会等に行なったアンケート結果を用いて、記述し、課題を明確にしました。</p> <p>その他、前回の策定委員会の中で、図を使って分かりやすくしたほうがいいのではという意見がありました。こちらに関しましては、今後の基本方針の検討のなかでどこに書くか検討します。</p> <p>また、連携・連帯の課題は、コミュニティの範囲が影響しているのではという意見がありましたが、エリアの範囲については、エリアの項目のところで議論することとします。</p>
委員長	本日いただいた柏市の資料に入っているような図があると分かりやすいと思います。
○エリアの課題について	
委員	修正をさせてください。「自主防災組織など」というところで、なぜここを書いているのか疑問だったので、意見として書かせていただきましたが、以前の委員会でこの表現は消していただいたので、大丈夫です。
事務局	少子高齢化の問題や、マンション開発で人口が増えている地域もあるなど、それぞれの地域で状況が変わっているなかで、これまで設定していたエリアでは対応できなくなっている活動があるとして、文の修正を行いました。また、以前の策定委員会で、エリアの見直しの議論がありましたが、見直しについては、「画一的に捉えるのではなく」という部分で対応できていると考えています。
委員長	その他、補足はございますか。
部会長	「これからのコミュニティづくりでは～」の部分について、これは課題ではなく課題解決の方向性ではないかというご指摘があり、そのように修正しました。

○資金の課題について	
委員長	作業部会案にご意見がないようであれば、委員の指摘に

	対して変更を行なうのみとします。
○意識の課題について	
事務局	意識の課題については、他の項目にも関わるものなので、意識の話を個別課題として取り扱うのか、全体課題として取り扱うのかは、今後検討します。
○場所の課題について	
委員	「空き家」の活用に関するご提案ですが、「空き家」ということは前に出さず、地域の身近な場所に場をつくるという表現にして、空き家を含んだ文章にしています。
委員	すばらしい言葉を使っただいて、ありがとうございます。私の地域も空き家が多く、防犯上も問題なので、このように活用されたいと思います。
委員	「・・・横のつながりを堅実にし」というところをどのように議論したかを説明します。「これら地域のさまざまな施設」は、公共施設、自治会集会所、民間施設などを指すので、施設間というよりは運営主体の連携・連帯のところで書こうということになりました。
委員	支部同士の連携・連帯があまりされていませんが、今後必要になってきます。それが浮き彫りになるといいなと思い、その中で活動場所の連携についても書くといいのではと思い、意見を書かせていただきました。
委員	近隣センターの連携についても議論がありましたが、実際には市の施策や具体的なコミュニティの中で書いていくことになりました。
委員長	連携・連帯のところでも意識して書いてほしいと思いますので、よろしくお願いします。
○行政の課題について	
委員	行政の内容について、全部の項目を書かなくてはいけないので、ここでは書かずに、もっと大きなかたちで行政についてまとめて書くべきではないでしょうか。
部会長	大きく書くというよりは具体的な施策、分野において検討する中で市の役割を明らかにしていくことになると思います。コミュニティ活動における行政の課題として縦割り行政について記述し、さらに具体的な各分野を受ける活動をまとめて書くというと、ボリューム的に無理があると思います。

事務局	どこで書くかは、また目次を検討する際に考えていきたいと思っておりますので、内容を確認していただきたいです。
委員	頭から文章を読んでいくと、これまでの縦断的な組織ではなく、今後、行政の組織を変えてくれるのかなと期待できるのですが、結局最後の部分で「そのためには～情報を収集して共有していく姿勢が大切です」とまとめており、ここだけトーンが下がっている気がします。
委員	議論をしていく中で、実現性をみてトーンを下げているところはたしかにあります。
部会長	市でしか集められない情報もあるので、ここで書くかどうか検討したいと思います。
委員	集めても活用してもらわないと共有化にならないので、そこを強調しておけばいいのではないかと思います。
部会長	情報を集めて発信するというのは、具体的な活動内容やアクションになるので、ここでは触れなくてもいいのではと考えています。
委員	作業部会のメンバーだけでなく、策定委員の方からもご意見をいただきたいです。
委員	文章の順番を入れ変えればいいのではないのでしょうか。「職員は」から始まり、「共通認識を持てるような常に新しい情報を収集し、共有していく姿勢が大切です。」という現在の文章を、「コーディネート業務が求められています」を最後にするような書き方に変更すればいいと思います。
委員	画期的なご提案だと思います。また、「職員が常に新しい情報を収集し」にすればいいと思います。
委員	行政に求められていることは、コーディネート業務となっているので、そのようなかたちでまとめていけばいいのではないのでしょうか。
委員	ここで文書の細かな点を議論するのではなく、策定委員会の意見を踏まえて、作業部会でブラッシュアップしていただきたいです。
委員長	その他何か補足等ございますか。
委員	人材育成の部分を行政の課題に入れてほしいということが書かれていましたが、まだ作業部会で議論をしていま

	<p>せん。そのため、このご意見について、どこに書くかの検討も踏まえ、検討していきます。</p>
<p>○全般に関する意見について</p>	
<p>●●委員の意見について</p>	
<p>部会長</p>	<p>なぜ今コミュニティの活性化が必要なのか、という基本認識が見えないのが第1点と、取り組むべき課題の優先順位がはっきりしないというご意見がありました。</p> <p>これにつきましては、我孫子市として継続的に地域コミュニティの活性化に取り組んできたが見直しに入っている。様々な分野において、市民と協働しあっていくのが我孫子市の方針として打ち出しているのです、その視点で進めています。</p> <p>優先順位について言いますと、特に優先順位はないだろうと考えます。策定委員会としては、地域コミュニティの活性化は、市民の暮らしやすさ、安全などを達成するために、市と市民のコミュニティをどう協働しあっていくかを方針で検討している段階です。</p> <p>地域コミュニティの自助、共助を期待するのはどの分野か明らかにすべきというご意見については、様々な分野の中で、自助、共助の割合は変化する場合があるので、エリアによっては、行政頼みにならざるを得ないこともあるので、分野を見て「ここからはしない」と市側から明言するのはよろしくないと考えます。</p> <p>提案に属するところで、地区別の住民自治協議会をつくってはどうかというご提案がありました。そのようなものをつくった上で、地域の中の重要課題から優先順位をつくっていくのか、全体的な戦略が分からないというご指摘がありました。これについては、我孫子市では、これまでのコミュニティ施策としては、まちづくり協議会が中核になってやっていくとなっていました、現状やアンケート、まちづくり協議会との意見交換を踏まえ、これからの方向性について検討している段階です。</p> <p>4番目に、課題が並んでいるだけで優先すべき課題が見えないというご意見がありました、課題というのは、地域コミュニティが持っている課題と、解決の方向性について、作業部会での議論だけでなく、アンケート結果</p>

	<p>等も踏まえて9つの切り口でみたものですので、優先順位をつけるものではないと考えます。</p> <p>5番目に、関係団体の例示の基準が分からないというご指摘がありました。コミュニティというのは、地縁型とテーマ型の2つに分かれますが、扱う課題によっては、地縁型が主なのか、テーマ型が主なのか、様々な局面がありますので、コミュニティの例示について厳格な基準はありません。また、特にそれを示す必要があるかは不明と考えています。</p>
委員	<p>今いただいた回答では、自分の疑問について、何も解決されていません。今回柏市のふるさと協議会の資料をいただいておりますので、こちらの資料を使って説明いたしますが、これを見ると、柏市が総合計画の展開から、コミュニティに対する重点を変えてきているのがよくわかると思います。第4次総合計画では、具体的な地域課題の解決型組織への転換を図ることを強調し、共助や市民でカバーすることを考えてほしいということを出して新しい目標を掲げています。ふるさと協議会の構成をみるとよくわかりますが、テーマ別の部会があり、どういうコミュニティの活性化を図るかという点について、部会ごとに課題を洗い出し、共通の課題を見出していけないと議論が収斂していかないのではないのでしょうか。私は、9つの課題について個別にコメントする前に、そういうことを議論しませんかということをお願いいたします。</p>
部会長	<p>そのような議論については、もう少し時間をいただきたいと思います。現在は、9つの側面からみた抽象的な議論をしています。全体的なトーンについては、基本方針のテーマを各段階で議論していくことになると考えています。</p>
委員	<p>議論の効率を考えると、枠組みを持ってからやったほうが良いと思います。市の考える方向性が見えない中で、もう一度検討していただけたらと思います。</p>
委員	<p>どうしてこうかと考えるときに、我孫子市のまちづくり協議会が地区ごとに課題を解決する組織がない状況でどうしていくかということについて議論していくと、地区別に</p>

	<p>違うことを同じテーマで挙げられないので、色々な側面から議論していかないと大きな議論になりません。委員のおっしゃる課題にどう持っていけるか議論をしているところでは作業部会も苦勞しているところです。ぜひ、アイデア等があれば、ご協力いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>緊急性のあるものは体制を作ってからでは遅いということであって、戦略があつてのことであれば、その形で協力していきます。</p>
委員	<p>このように回を重ねると基本に立ち戻る必要があると思いますので、市当局に説明をお願いしたいと思います。今回の議論は、まず大きな方針を決めて進めたのではなく、現場に密着したアンケートの結果をまず行なつて始まったものです。そのため、最初に大きな方針を決め、それに従い動くのではなく、現状と課題を把握し、それを解決していくための作業をしています。大きな課題については作業部会がやるのではなく、策定委員会で議題が出てくるものではないかと思います。</p>
<p>●●●委員の意見について</p>	
部会長	<p>委員の意見を参考にして進めていきたいと思います。</p>
<p>●まちづくり協議会について</p>	
事務局	<p>意見交換会の結果については、まだまとめ切れていないので、口頭で説明いたします。</p> <p>まちづくり協議会の性格ですが、地域特性を踏まえる必要があります。共通の目的を設けるのであれば、地域住民の交流を通じて地域の絆を育む、安全安心のまちづくり、顔の見える社会をつくること。一方、まちづくり協議会のカラーはそれぞれ異なるので、共通の目的は持てないのではないかという意見もありました。また、まちづくり協議会の構成については、今後も地域住民で構成していった方がいいのではないかとところが殆どでした。自治会との関係の希薄化について自治会が参加できる一定のルールをつくれればいいのかという意見もありました。</p> <p>高齢化が進む中で、地区社会福祉協議会との関わりを充実させた方がいいのではないかと意見もありまし</p>

	<p>た。</p> <p>まちづくり協議会が、地域の問題に直接取り組むのは難しいが、地域の問題を解決していくため、親睦交流を通じ土台をつくっていく事業を展開していく方がいいのではないかとということでした。また既に地域的に親睦や交流を受け持つ組織、問題を解決する組織など、役割分担を構築している地域もあるので、そういうことも配慮する必要があるのではないかとのことでした。</p> <p>行政との関係では、コミュニティづくりについて数値で評価していくのは難しいのではないかとということでした。また、自治会のまちづくり協議会参加を促すというところで、まちづくり協議会に関する情報を充実させていった方がいいのではないかとのことでした。</p> <p>近隣センターの管理運営について、これまでどおり地域住民による自主管理運営がよいとのことでした。</p>
委員	<p>役員をやっている方はあれこれと役員を割り振られている状況で、さらに中身まで多くを求められては、仕事を受ける方も大変だと思います。また、まちづくり協議会の行事は近隣センターが中心なので、その方々が外に飛び出して活動ができるのか疑問です。市も住民に運営管理を肩代わりさせるのは無理があるのではないのでしょうか。</p>
<p>●基本方針策定作業について</p>	
事務局	<p>作業部会案を作成して策定委員から意見をいただくというのも一つの方法ですが、今回は策定委員の方にも事前に提案などをいただき、それも含めて作業部会で議論したいと思います。項目としては、一つ目が地域コミュニティ活性化の具体的な取組みについてということになります。課題の現状と課題解決の方向性を議論して確定したところで、課題解決の方向性を実現するために、具体的に何をすべきか意見をいただきます。</p> <p>二つ目は、まちづくり協議会の方向性についてですが、現在、作業部会で検討している5つの項目について意見をいただきます。</p> <p>三つ目に基本方針の構成要素です。具体的な章立てや、各章に記述したいキーワードなどをご提案いただきます。</p>

	<p>す。これら3つの項目について、策定委員から意見をいただき、作業部会でこれらの項目について検討して、また策定委員会でご提案させていただきたいと思います。事務局でアンケートの様式を作成し、皆様にお送りしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>アンケートの配布は来週中と考えています。締め切りについては、作業部会の日程等も含めて調整し、アンケートの配布時にお知らせいたします。</p>
委員	まちづくり協議会との意見交換会の議事録をいただきたいです。
事務局	参考資料をお出しします。
委員	事務局もこちらも時間がないなかで、大変なので段階を踏んで進めたいです。
事務局	部会長と調整して考えていきたいと思います。
●次回の日程について	
	第8回策定委員会は4月6日（土）に開催決定。それまでの期間中に、策定委員へのアンケート調査を行い、作業部会で検討する。